

令和6年度 「地域まるごとホテル@三浦半島」 事業説明会

- オンラインでご参加の方は、円滑な進行のため、画面オフ・ミュートの状態でのご参加をお願いします。

神奈川県横須賀三浦地域県政総合センター

委託事業者：株式会社さとゆめ

- **開会のご挨拶**
- **地域まるごとホテル@三浦半島の事業説明**
- **基調講演：**
地域の魅力を伝える「地域まるごとホテル」とは
- **参加者ワークショップ兼相談会（会場参加者のみ）**

※ Zoom配信は基調講演までとなります。

地域まるごとホテル@三浦半島 事業説明

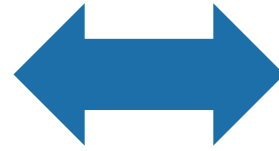


事業概要

三浦半島地域の現状と課題

現状・課題

- ・豊かな自然・歴史・文化、多彩な農水産物
- ・首都圏からのアクセスがしやすい



- ・宿泊客が少ない
- ・観光客の平均消費単価が低い



日帰り観光客数の割合	R2	R3
神奈川県	82.6%	81.1%
三浦半島（鎌倉除く）	85.4%	90.4%

宿泊観光客の平均消費額	H28	R3
神奈川県	30,358円	37,660円
三浦半島（鎌倉除く）	28,713円	13,857円

※神奈川県「観光客消費動向等調査」抜粋


課題解決に向けて

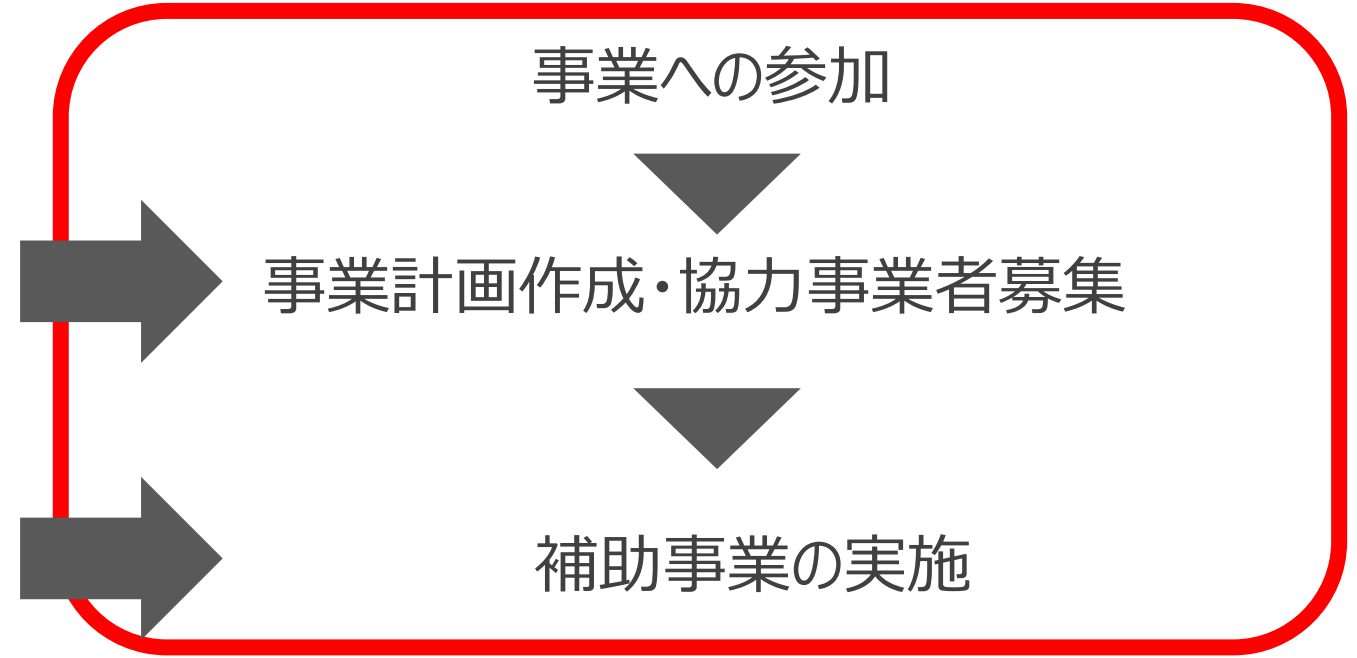
事業の流れ



参加事業者

 さとゆめ LOCAL BUSINESS INCUBATOR 事業の企画立案の支援

 神奈川県 KANAGAWA 事業立上げの補助
広報支援



事業への参加

事業計画作成・協力事業者募集

補助事業の実施

地域まるごとホテル@三浦半島を展開し、三浦半島のさらなる活性化へ

地域まるごとホテルとは

地域まるごとホテルとは、従来の1つの宿泊施設で全ての観光機能を提供するのではなく、「泊・食・観光」の各機能がエリア内に点在し、エリア全体で1つのホテルのようなおもてなしを提供するものです。

宿泊施設と周辺の観光施設が連携して事業展開をすることで、様々な事業者が参画した地域一体となったおもてなし体制の構築を目指します。

地域まるごとホテルでの滞在イメージ

1日目

12:00～ ホテル近隣の飲食店で昼食

14:00～ 公園や美術館などの散策

16:00～ ホテルチェックイン

18:00～ 連携するまちの飲食店で夕食

19:00～ 連携する事業者の夜景ナイトツアー

21:00～ 宿泊施設に滞在

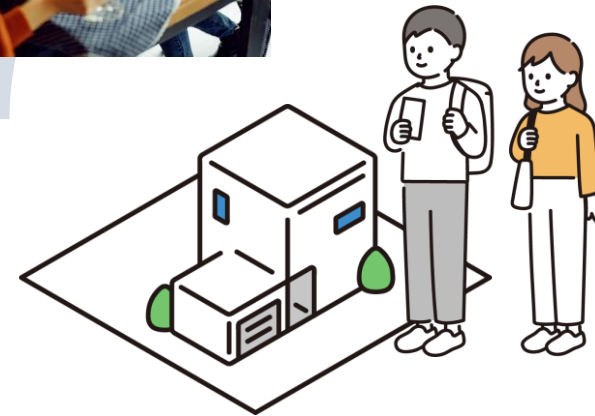
2日目

6:30～ 朝、連携事業者の畑でお野菜収穫

8:00～ 採れたてお野菜で朝食@ホテル

11:30～ 飲食事業者のお店で昼食

14:00～ 観光施設でお買い物



このエリア面白い！
また来たい！

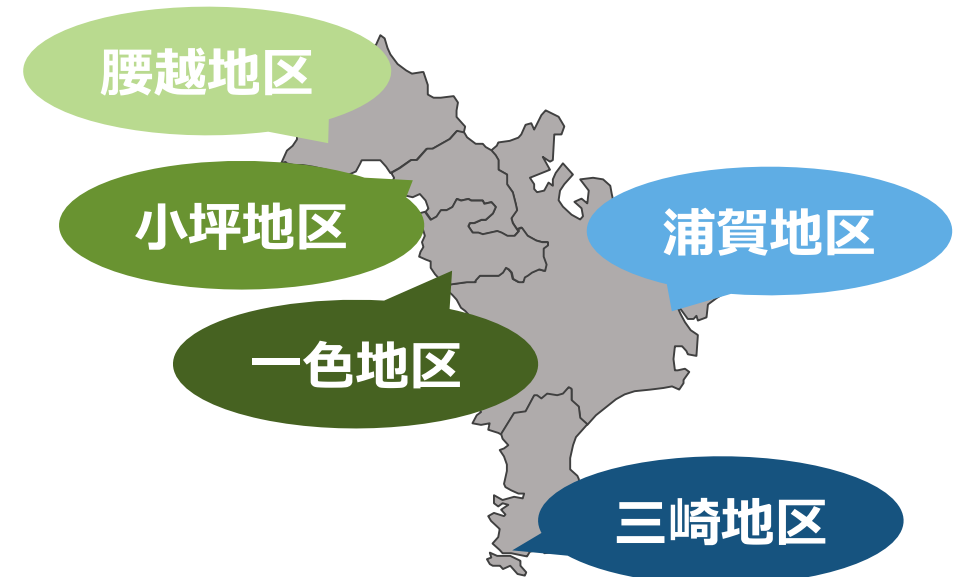
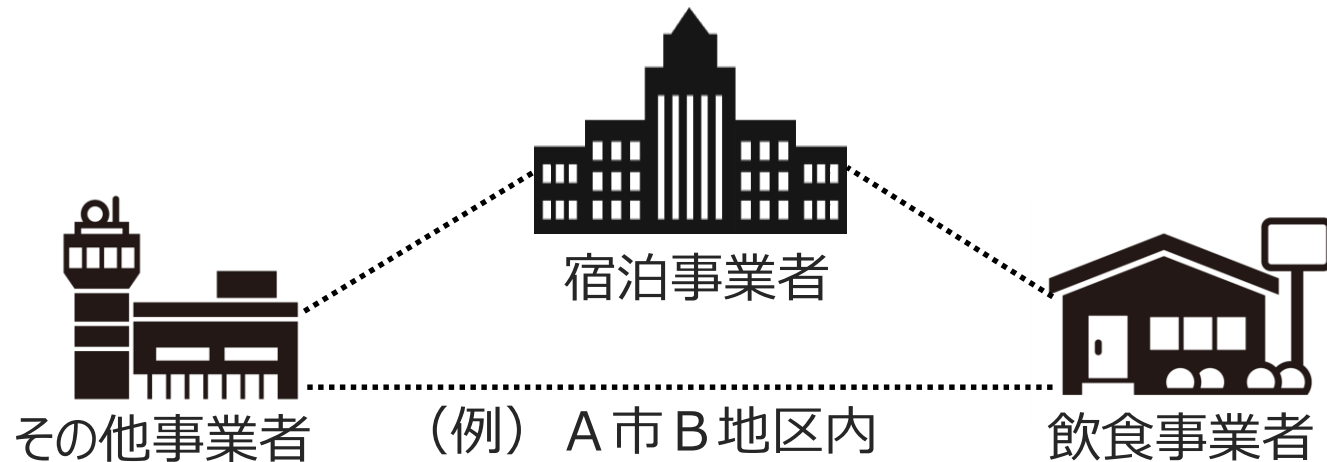


エリアの要件

主な要件

- 全ての施設が三浦半島地域内に所在
- エリアのアイデンティティを活かし、全体の消費額を相乗的に高める取組が可能な範囲
- 宿泊、飲食、観光の機能がエリア内に分散
- ストーリー性のある回遊パッケージ等の地域一体となったおもてなし体制の構築
- 宿泊事業者、飲食事業者、その他事業者が各 1 者以上参加

イメージ



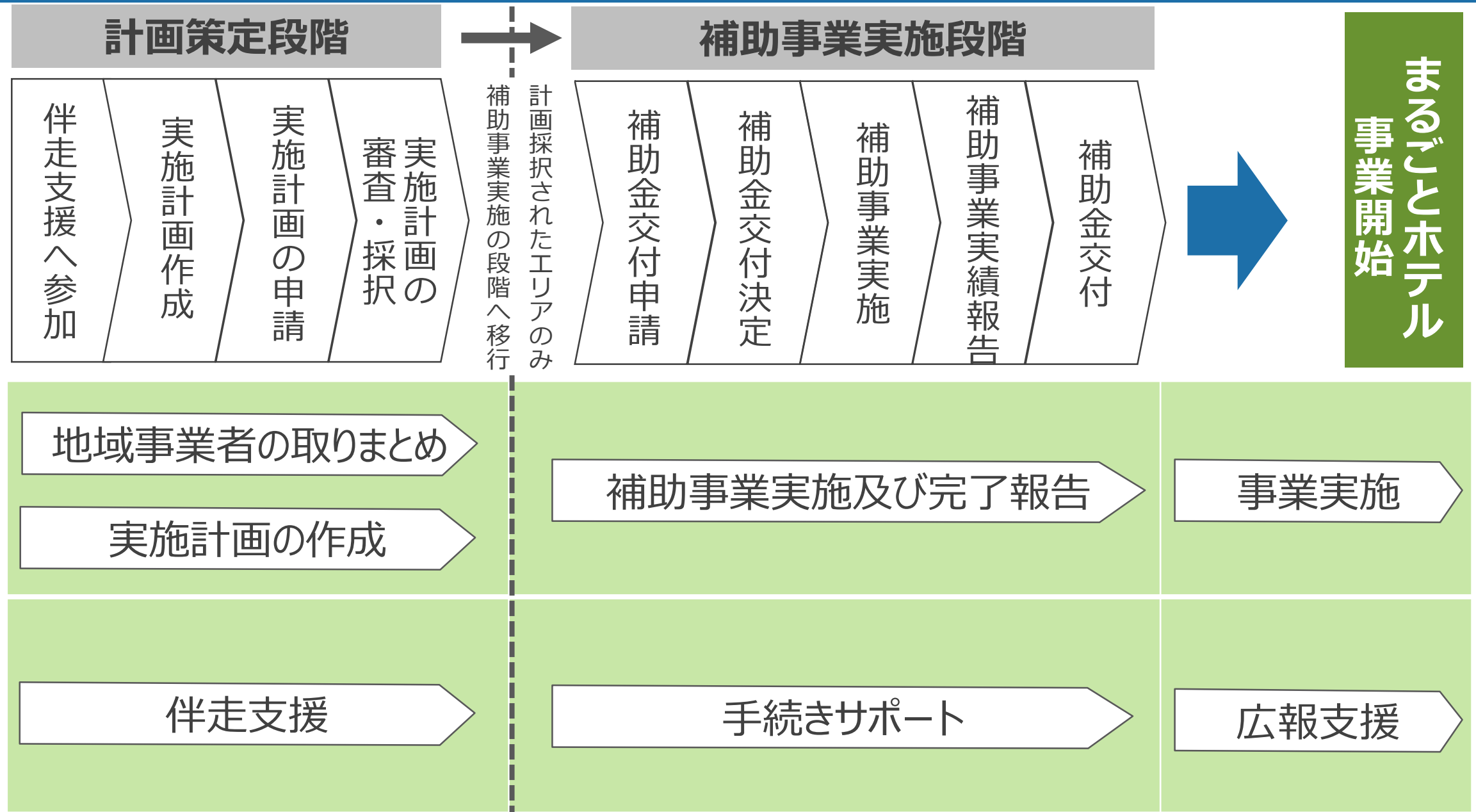
参加者の主な条件

三浦半島の地域活性化に興味がある、地域一体となった取組に興味がある人

宿泊事業者	<ul style="list-style-type: none">・ホテル、旅館、民宿等の旅館業法第3条に許可を受けて営業するもの（※）・住宅宿泊事業法第3条の届出をして営業するもの（※）
飲食事業者	<ul style="list-style-type: none">・食堂、レストラン等の食品衛生法第55条の許可を得て営業するもの（※）
その他事業者	<ul style="list-style-type: none">・三浦半島地域内において観光客向けのサービスを提供又は提供予定であるもの 参考例：マリンスポーツ、レジャー施設、アクティビティ、観光農園、農漁業体験、神社、寺院、その他観光向けのサービス等

※実施計画の申請時に必ずしも営業許可を受けている必要はありません。補助事業実施後に営業許可を受けることも可能です。

事業スキーム



参加者

事務局

実施計画

実施計画概要

概要

様式 1

<全体計画>
エリア全体の事業計画

様式 2

<個別事業計画>
各事業者が実施する
個別事業の計画

様式 3

<補助事業計画>
各事業者が実施する
補助事業の計画

様式 4

<エリア協定書>
エリア内の実施体制を規定する
協定書

実施計画は 4 つの様式から構成され、エリア内の代表者が事務局へ提出

审查·探択

審査概要

基本的な考え方

- ・市町や商工団体等の関連団体に意見照会を行うことで、地域の特徴を捉えている計画にする
- ・地域活性化や観光経営等の知見を持った有識者から意見をもらうことで、より良い事業を目指す

審査フロー



視点

中長期的な継続性
(コンセプト・ビジョン、収益の妥当性)

事業の有効性
(ターゲットの妥当性、地域課題への有効性)

地域活性化

地域の一体性
(様々な事業者の参加・協力・連携)

地域からの理解
(地域住民、市町や地域団体等の受け止め)

採択を受けた実施計画に基づき補助事業を実施可能

補助金による支援

補助金概要

基本的な考え方

三浦半島地域を訪れる観光客の滞在時間の延長及び平均消費額の増加につながる施設等の改修や備品の購入、ソフト導入等の収益力を向上させる事業に対して補助を行う

補助対象者

実施計画の採択を受け、事業を実施する者

申請期間

令和6年9月2日（月）から令和7年1月17日（金）まで

項目	補助事業	補助率	補助上限額
ハード	①宿泊施設等改修事業	1/3以内	1,000万円
	②施設関連設備・システム等導入事業		
ソフト	③プロモーション・運営支援事業		300万円

1エリアで1,300万円（ハード1,000万円+ソフト300万円）が上限

広報支援

<県HP>



<県Instagram>



↑
カウントは
こちらから

その他、県で様々な広報支援を実施予定



地域まるごとホテル@三浦半島の認知度向上

伴走支援

伴走支援とは

目的

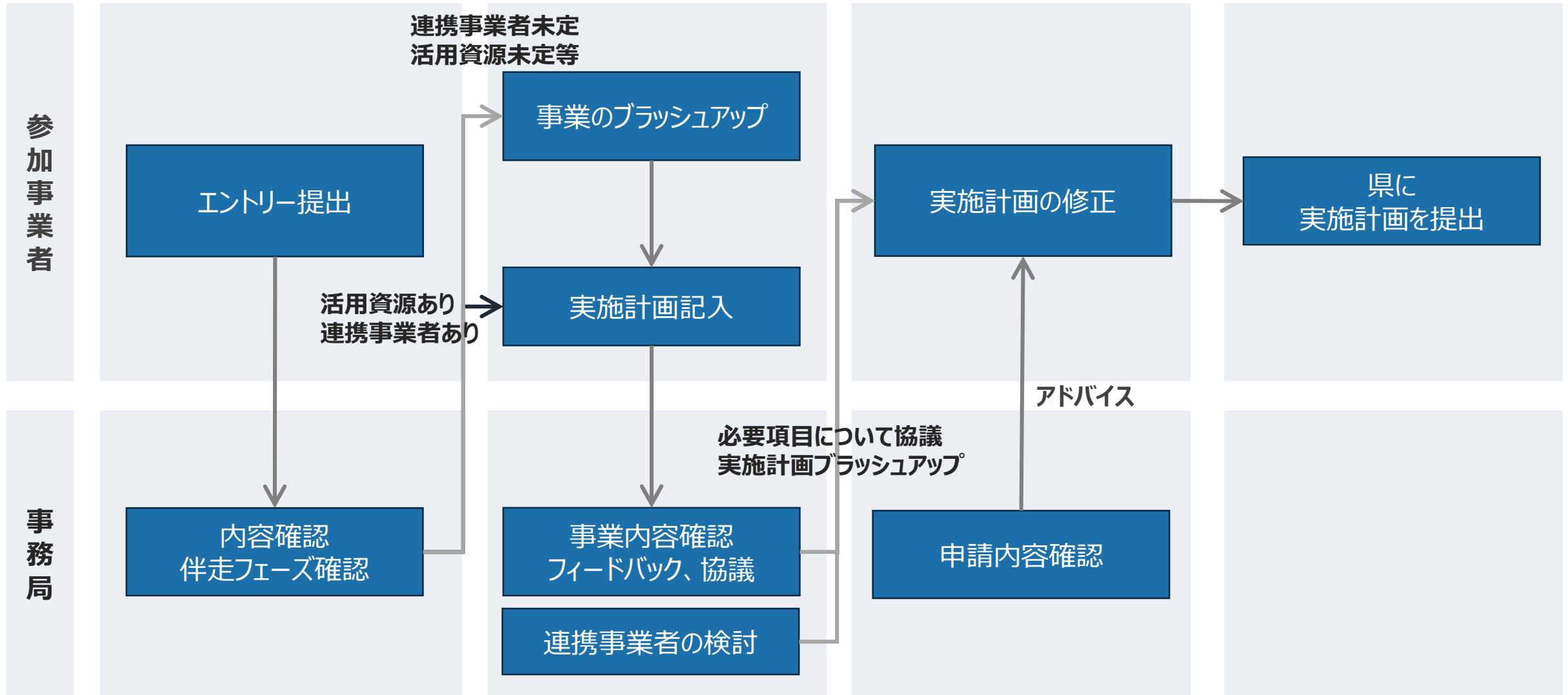
実施計画に申請をご予定されている参加事業者の皆様が、実施計画の申請に向けてまるごとホテル事業を理解され、より魅力的で適切な事業計画の策定を行えるよう、参加事業者の皆様の状況に合わせてご支援をすることを目的とします。

支援内容及び体制

領域	担当者	支援内容・方法
分析、コンセプト開発 地域ブランディング	小川 恭子 佐々木 隼人 嶋田 俊平	主にマーケティングの視点から、事業者の皆様の提案をブラッシュアップいたします。 ※活用できる地域資源及び、顧客層、事業者の強み・弱み等から、適切なターゲット設定、コンセプト開発、地域資源の付加価値化等
エリアマネジメント サービス開発	谷口 俊哉	主に地域独自のコンテンツの発掘及びサービス化に関するアドバイスを行います。 ※地域まるごとホテルの実践者として、顧客へのサービスに転換できる地域資源の発掘の仕方、付加価値化、サービスへの落とし方 等
建築、設計	福井 遼	主に建築、設計などハード周りでご支援が必要な方にアドバイスを行います。 ※建物の改修を行う際に見ておくべき費用、改修時に確認すべき事項 等
事業融資、経営相談	昔宮 賢典	主に財務、収支計画に関するアドバイスを行います。 ※自己資金、融資、補助金のバランスを考えた収支計画に関する
DX関係	昔宮 賢典	主にサービスオペレーションにおけるDX化について必要な方にアドバイスを行います。 ※POSシステムのデジタル化、顧客管理方法 等

伴走支援の進行イメージ

伴走支援は、エントリーをいただいてから開始いたします。事業の計画状況によって適宜、各専門領域の担当者をご支援します。



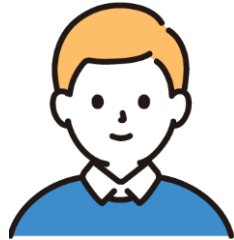
- ※ 随時の相談をしやすいよう、伴走支援期間はコミュニケーションアプリのSlackを運用します。
- ※ 伴走支援に入られた方には別途URLをお送りします。

支援例 ①ターゲットの検討、サービスフローに関するフォロー

Q

活用したい地域資源はあるが、ターゲットやサービスをどう考えて良いかわからない

<支援内容>



担当が伺って現状をお伺いします。

伴走支援担当が伺って申請者の事業環境や資源など、地域まるごと事業に必要な情報をお聞きします。



生かしたい資源や提供したい価値をもとにターゲットやコンセプトを検討します。

マーケティング支援担当が事業者様とディスカッションをしながら検討します。



ターゲットに沿って必要なサービスフローを考えます。

実際にホテル、観光業を営んでいる担当も入り望ましいサービスフローを検討します。

事業者様が検討内容をもとに実施計画を完成させます

Q まるごとホテルに関する可能性は感じているが、しっかり改修しようとする融資も必要だ

<支援内容>



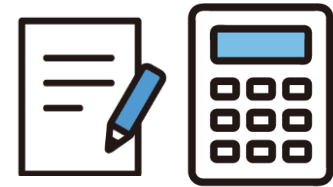
**担当が伺って
現状の計画をお聞きします。**

伴走支援担当が伺って
現在お持ちの投資開発計画の
全体像をお聞きします。
その上で、実際の事業計画の
策定フォローをします。



**必要に応じて
金融機関への説明資料等の
アドバイスを行います。**

投資額が大きい場合、実際の回収シ
ミュレーションなどについてもご相談を
お受けできます。



**今回の事業で補助対象として申請する
事項を検討します。**

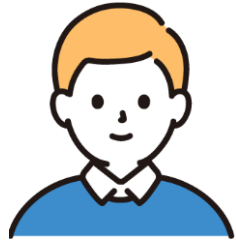
補助事業も含めた新規サービス開発に関わる投資
について、財務面等も考慮しながら
どの部分を補助事業として申請するか等の
相談に対応します。

支援例 ③連携事業者のマッチングに関するフォロー

Q

A地区の、山の方にある資源と連携した内容を考えたいが、具体事業者がない

<支援内容>



担当が伺って
想定されている
連携対象をお聞きします。

伴走支援担当が伺って
現在想定されている計画と、連
携する事業者のイメージや組み
方についてお聞きします。



事務局で情報共有を行い
ご連携の候補事業者様を
ご提示します。

実際の連携可否ではありませんが、事務局
にてリサーチの上、ご想定されているターゲッ
ト、コンセプトに
マッチする事業者様をご提示します。



連携可能性のある事業者様に
一緒にご訪問をするなどして
本事業のご説明などをフォローします

ご相談者様においても連携の可能性を感じていた
だけたら、ご一緒に訪問をして
本事業に関するご説明や、ご相談事業者様が
考えているサービス展開についてのフォローなど
必要な支援を行います

伴走支援事業についてのお知らせ

伴走支援への参加募集期間

令和6年5月31日～12月5日

エントリー方法

- ① 県ホームページ掲載のエントリーシートをダウンロード
- ② エントリーシートの必要事項を記入
- ③ 以下のメールアドレスに必要事項を記載の上、事務局へ提出

<メール必要記載項目>

- 名前
- 企業・団体名
- 電話番号

<送付先メールアドレス>

miuramarugoto@satoyume.com

補足事項

- エントリーシートの送付はメールでお願いします。
- 伴走内容は、事業者様の状況によって内容を調整いたします。
- まずは、エントリーをお願いいたします、その上でどのようなご支援が必要か確認をさせていただきます。
- 目標とされる申請期間が年度の後半になる場合には、必ずしも第1期の申請受付期間にエントリーをしていただく必要はありません。
- ご不明点があれば、前頁の事務局メールアドレスまでご連絡をお願いいたします。

※担当が事務局に不在のことも多くございますので、恐れ入りますがメールでのご連絡にご協力をいただけますと幸いです。